

広島空港 ⓘ スクエア通信

第4号（平成29年8月23日）
（発行：広島県空港振興課）



（目次）

■ コラム（広島空港の利用特性）	1
■ 広島空港の利用状況（平成29年7月）	3
■ トピック	8
・ 空港経営改革推進委員会第1回会議について	8
・ 広島～シンガポール線の路線認可について	8
・ 羽田線の増便について	8
・ 広島～札幌便について	9
・ お盆期間中の空港アクセスについて	9
■ お知らせ	10

■ コラム（広島空港の利用特性）

広島空港は、基幹路線である羽田線の旺盛な需要や底堅いアウトバウンド需要を中心に成長してきましたが、空港を取り巻く環境の変化に伴い利用構造も変わりつつあります。今回は、広島空港の利用特性について、他空港と比較しながらご紹介したいと思います。

空港の利用状況は後背圏の人口規模や経済構造、地理条件等によって変わってきます。一般的には後背圏人口が多いほど空港の規模が大きくなりますが、居住人口に関わらず、観光等による交流人口が多い場合も同様であり、他の交通モードとの競合状況によっても大きく変わってきます。例えば、沖縄県の人口は140万人程度（広島県の半分程度）ですが、那覇空港の利用客数は、関西国際空港や福岡空港、新千歳空港に匹敵する規模です。

また、空港によって路線別の利用状況にも特色があります。地方空港では、一般的に羽田線などの首都圏路線が基幹的な路線であるケースが多いですが、同規模の他空港と比較すると広島空港では特にその傾向が強いことがわかります。（表1参照）

競合関係にある対新幹線のシェア低下や、将来的なりニア中央新幹線の開通なども考慮すると、過度に羽田線に依存することは課題がありますが、羽田線（特にその約6割を占めるビジネス利用客）が広島空港の利用層の中核をなしていることがわかります。

また、昨今の新たな動向として、LCC路線の利用定着も挙げられます。広島空港では平成26年度に成田線にLCCが就航しましたが、同路線の国内線に占めるシェアは、平成25年度（就航前）は3%未満だったものが平成28年度には約1割にシェアが拡大しています。

（表1）国内線利用200万人台の空港の路線別シェア（平成27年度）

	就航先(主なもの)	仙台	神戸	広島	松山	長崎	熊本	宮崎
シェア	羽田	0.0%	37.4%	75.3%	53.3%	63.7%	64.5%	51.8%
	成田	3.1%	0.0%	9.9%	9.9%	0.0%	6.4%	0.0%
	大阪(関空・伊丹)	41.9%	0.0%	0.0%	25.2%	16.3%	17.4%	21.7%
	福岡	10.2%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	17.8%
	新千歳	25.6%	17.5%	6.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	那覇	4.8%	17.6%	5.3%	2.6%	1.8%	2.8%	2.9%
	中部	7.4%	0.0%	0.0%	4.1%	5.2%	5.2%	5.8%
	その他	7.0%	27.5%	3.1%	0.5%	13.0%	3.7%	0.0%
国内線利用者計(単位:人)		2,819,363	2,258,184	2,192,380	2,655,511	2,861,331	2,938,567	2,735,366

※出典：航空輸送年報（国土交通省）から作成

次に、国際線ですが、いわゆる爆買は鎮静化したと言われるものの、ここ数年、様々な場面で頻りに登場する言葉が「インバウンド」です。

平成28年の訪日外客数は2400万人を超え、平成29年も今のところ昨年を上回るペースで推移するなど、今後の更なる伸び代が期待されるインバウンド市場ですが、実はこうした動向はごく最近のことです。

表2は最近10年間の出国日本人数と訪日外客数の推移を整理したのですが、10年前（平成19年）の訪日外客数は出国日本人の半分に満たない程度でした。5年前（平成24年）頃まではそうした傾向が続いていましたが、平成25年に訪日外客数が1000万人を超えてからは、その数は急激に増加しました。出国日本人数が10年間でほぼ横ばいなのに対して、訪日外客数は約3倍になっており、平成27年以降はその数は逆転しています。

（表2）年別 訪日外客数、出国日本人数の推移

（単位：万人）

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H28/H19
出国日本人数	1,729	1,599	1,545	1,664	1,699	1,849	1,747	1,690	1,621	1,712	99.0%
訪日外客数	835	835	679	861	622	836	1,036	1,341	1,974	2,404	287.9%
計	2,564	2,434	2,224	2,525	2,321	2,685	2,783	3,031	3,595	4,116	160.5%

※出典：年別 訪日外客数、出国日本人数の推移（JNTO）

この間、LCC などの新たな航空サービスが拡大したことや、羽田空港が再国際化されたことなどもあり、国際線の状況も大きく変わりました。羽田空港は国際空港としての拠点性を急速に高めていますし、成田空港や関西国際空港では LCC を中心に路線を充実させ、訪日客を中心に利用客を大きく伸ばしました。

インバウンド市場の拡大は地方空港にも大きな変化をもたらしました。今では信じられないような話ですが、8年前まで（平成 21 年度まで）、国際線に限れば、広島空港は那覇空港より利用客の多い空港でしたが、那覇空港はアジアを中心に路線ネットワークや便数を大きく拡大し、平成 28 年度には年間約 300 万人と広島空港の 10 倍の利用となっています。

那覇空港の例は、沖縄県の観光コンテンツの豊富さに加えて、アジアに至近の立地条件や空路がメインとなる交通体系など様々な条件が揃っている特異な例ですが、インバウンド需要の拡大に伴って、これまで以上に大規模空港が拠点性を高めるなど二極化傾向も表れつつあり、空港間の競争はこれまで以上に激化しています。

広島空港の国際線利用客数は全国で 8 番目です。広島空港よりも上位の空港は那覇や新千歳といった大規模な空港ですので、中規模以下の空港の中では国際線利用の多い空港と言えます。冒頭で触れたとおり、広島空港の国際線の強みはアウトバウンド需要の底堅さでしたが、近年のインバウンド市場の拡大や地方空港の二極化の影響から、実は広島空港でも利用構造が従来と変わってきています。

表 3 は広島空港の出入国者の内訳の推移を整理したのですが、かつては日本人が外国人の約 3 倍を占めていたところ、平成 28 年にはシェアが逆転し、過半数が外国人となりました。特に最近 2 年間は外国人利用者が大きく増加していますが、日本人利用者の減少も目立っています。広島県居住者の出国者数は大きくは減っておらず（表 4 参照）、また「地域企業の事業展開に伴う海外渡航に対する大きな需要がある」（H28 中国経済連合会「広島空港の利用に関する調査」¹）との調査結果も出ていますので、広島空港が地域の強みを活かしてきれていないという課題が見えてきます。（最近では国内線経由で羽田空港を利用する利用者も増えていますが、近隣の大規模他空港への流出も進んでいるのが実情です。）

こうした中、広島空港ではイン・アウトの双方の需要の高い東南アジアへの路線の拡充や、運用時間の延長を通じた羽田線の拡充などに取り組んでいます。今年の冬季ダイヤからは、シンガポール線の就航や羽田線の増便などが実現されるなど一定の成果が現れつつあり、インバウンドの取込みに加えて、国内線やアウトバウンドなど従来強みとしてきた利用層の拡大も期待される所です。今後も、より一層の利便性向上のため、引き続き地域の関係者と協力しながら取組を進めていきたいと考えています。

（表3）広島空港出入国者内訳

（単位：万人）

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H28/H19
日本人	27	23	23	25	27	27	22	18	14	14	51.9%
外国人	9	8	7	7	8	8	9	10	13	18	200.0%
計	36	31	30	32	35	35	31	28	27	32	88.9%

※出典：出入国管理統計（法務省）から作成

（日本人、外国人の区分で出国人数と入国人数を合計。なお、協定該当者は少数（1%未満）のため含めていない。）

（表4）広島空港の出国日本人の推移

（単位：人）

		H23	H24	H25	H26	H27	H27-H23
広島県居住者	出国者数(A)	258,268	269,966	251,060	246,412	226,732	▲ 31,536
	シェア(A/C)	1.56%	1.50%	1.47%	1.48%	1.42%	-0.14%
広島空港(日本人)	出国者数(B)	133,314	133,256	105,781	90,543	68,542	▲ 64,772
	シェア(B/C)	0.80%	0.74%	0.62%	0.55%	0.43%	-0.38%
全空港(日本人)	出国者数(C)	16,568,045	18,013,230	17,111,746	16,595,181	15,974,862	▲ 593,183

※出典：国際航空旅客動態調査（国土交通省）（年間拡大による推計値）

¹ <http://chugokukeiren.jp/proposal/pdf/y2016/201611tophoukokuhirosimakuukou.pdf>

■ 広島空港の利用状況（平成29年7月）

○ 航空旅客

国内線は、成田線を除いていずれの路線も前年実績を上回っています。一方で、国際線は、好調だった昨年と比較すると、伸び悩みの状況が続いています。

全体としては、7月単月で対前年度比101.2%、4～7月の年度累計で対前年度比106.7%と好調を維持しています。

路線	区分	単月(H29.7)		年度累計(H29.4～7)		備考		
		利用状況(人)	前年比(%)	利用状況	前年比(%)			
国内線	東京	搭乗者数	165,065	100.7	662,062	108.1		
		搭乗率	65.4		70.3			
	成田	搭乗者数	18,343	95.8	70,936	101.0	H26.8.1～2便増便	
		搭乗率	67.1		67.3			
	札幌	搭乗者数	14,270	113.3	53,308	112.6		
		搭乗率	74.5		71.3			
	仙台	搭乗者数	6,994	124.3	26,547	119.8		
		搭乗率	83.8		84.4			
	沖縄	搭乗者数	10,949	106.2	45,253	103.1		
		搭乗率	65.2		68.1			
	その他国内	搭乗者数	939	—	1,907	—		
		搭乗率	77.3		80.2			
国内線合計		搭乗者数	216,560	102.1	860,013	107.8		
		搭乗率	66.6		70.3			
国際線	ソウル	搭乗者数	4,362	106.5	18,011	114.8		
		搭乗率	51.4		53.4			
	中 国	大連・北京	搭乗者数	3,043	97.2	11,780	107.8	H28.10.30～1便減便 H29.3.26～1便増便
			搭乗率	44.1		45.1		
	路 線	大連・天津	搭乗者数	0	—	0	—	H24.10.28～運休
			搭乗率	—		—		
	線	上海・成都	搭乗者数	5,146	96.7	20,222	97.6	
			搭乗率	65.9		66.3		
			搭乗者数	8,189	96.9	32,002	101.1	
			搭乗率	55.7		56.5		
	台 北		搭乗者数	8,176	98.5	32,731	96.8	H27.1.1～2便増便 H28.10.30～2便減便
			搭乗率	83.4		83.2		
	香 港		搭乗者数	4,352	74.7	16,704	74.3	H27.10.27～2便増便 H28.1.28～1便増便 H28.10.30～2便減便
			搭乗率	93.2		90.2		
	グ ア ム		搭乗者数	0	—	0	—	H26.4.1～H26.7.19 期間運休 H26.12.19～運休
搭乗率			—		—			
合 計		搭乗者数	25,079	94.0	99,448	95.9		
		搭乗率	66.6		67.1			
そ 他 海 外		便数(片便)	0		8			
		搭乗者数	0	—	2,878	—		
		搭乗率	—		90.9			
国際線合計		搭乗者数	25,079	94.0	102,326	98.2		
		搭乗率	66.6		67.6			
旅 客 合 計		搭乗者数	241,639	101.2	962,339	106.7		
		増加人数	2,890		60,653			

○ 航空貨物

	路 線		単月(H29.7)		年度累計(H29.4~7)		備 考	
			利用状況(kg)	前年比(%)	利用状況(kg)	前年比(%)		
国内線	東 京		1,136,672	98.5	4,595,048	102.8		
	成 田		0	—	0	—		
	札 幌		72,126	111.4	235,705	111.5		
	仙 台		0	—	0	—		
	沖 縄		172,993	103.7	633,173	106.6		
	国内線合計		1,381,791	99.7	5,463,926	103.6		
国際線	定期便	輸出	ソ ウ ル	0	—	0	0.0	
			大 連・北 京	15,111	3381.9	30,876	1,286.0	
			大 連・天 津	—	—	—	—	
			上 海・成 都	1,112	103.7	3,483	74.2	
			台 北	5,354	272.9	25,682	95.3	
			グ ア ム	—	—	—	—	
			計	21,577	565.5	60,041	159.0	
	定期便	輸入	ソ ウ ル	0	—	0	0.0	
			大 連・北 京	1,930	262.2	6,941	223.7	
			大 連・天 津	—	—	—	—	
			上 海・成 都	21,991	1491.9	58,191	562.1	
			台 北	2,727	233.1	15,351	126.8	
			グ ア ム	—	—	0	—	
			計	26,648	417.4	80,483	224.1	
	定期便	合計	ソ ウ ル	0	—	0	0.0	
			大 連・北 京	17,041	1440.4	37,817	687.1	
			大 連・天 津	—	—	0	—	
			上 海・成 都	23,103	907.1	61,674	409.9	
			台 北	8,081	258.0	41,033	105.1	
			グ ア ム	—	—	0	—	
			合計	48,225	472.8	140,524	190.7	
チャーター便	輸 出	—	—	—	—			
	輸 入	—	—	—	—			
	[輸 出]		21,577	565.5	60,041	159.0		
	[輸 入]		26,648	417.4	80,483	224.1		
	国際計		48,225	472.8	140,524	190.7		
	合計		1,430,016		5,604,450			

○ リムジンバス等

路線	区分	単月(H29.7)		年度累計(H29.4~7)		備考
		利用状況(人)	前年比(%)	利用状況	前年比(%)	
広島	乗客数 (うち平和大通り)	89,326	100.5	362,085	108.4	
		1,212	106.4	4,835	123.8	
	1便平均	17.0	18.6			
	1便平均 (うち平和大通り)	4.9	5.0			
福山	乗客数	6,102	96.9	25,517	103.8	
	1便平均	8.2	8.7			
三原	乗客数	3,012	91.9	12,809	102.5	
	1便平均	4.9	5.2			
呉	乗客数	5,901	105.5	23,050	108.6	
	1便平均	10.6	10.5			
白市駅	乗客数	9,375	93.8	41,814	100.8	
	1便平均	5.8	6.6			
竹原港	乗客数	856	97.7	3,564	100.5	
	1便平均	1.8	1.9			
尾道	乗客数	618	167.5	2,388	166.2	H28.4~
	1便平均	4.2	4.2			
三次	乗客数	419	—	1,435	—	H28.7~
	1便平均	2.3		2.0		
合計	乗客数	115,609	100.1	472,662	107.6	
	増加人数	151		33,534		

航空旅客数	241,639	101.2	962,339	106.7
増加人数	2,890	(速報値比較)	60,653	(速報値比較)
バス利用者割合(%)	47.8		49.1	

○ 駐車場

駐車場名	区分	単月 (H29.7)		年度累計 (H29.4~7)	
		利用状況(台)	前年度比(%)	利用状況(台)	前年度比(%)
空港駐車場 1,149台	入庫台数	25,546	104.4	96,124	105.3
	1日平均	824		788	
	泊車台数	18,876	104.0	73,060	107.2
	1日平均	609		599	
	満車日数	2		8	
県営第1駐車場 593台	入庫台数	6,876	106.2	27,008	106.7
	1日平均	222		221	
	泊車台数	5,465	108.9	21,316	113.1
	1日平均	176		175	
	満車日数	0		0	
県営第2駐車場 645台	入庫台数	12,417	105.1	52,229	106.7
	1日平均	401		428	
	泊車台数	3,654	114.4	15,150	116.0
	1日平均	118		124	
	満車日数	0		0	
県営駐車場 計 1,238台	入庫台数	19,293	105.5	79,237	106.7
	1日平均	622		649	
	泊車台数	9,119	111.0	36,466	114.2
	1日平均	294		299	
	満車日数	0		0	
正広駐車場 1,426台	入庫台数	4,612	99.1	18,848	103.1
	1日平均	149		154	
	泊車台数	20,087	118.2	81,057	121.5
	1日平均	648		664	
	満車日数	0		0	
合計 3,814台	入庫台数	49,451	104.3	194,209	105.6
	1日平均	1,595		1,592	
	泊車台数	48,082	110.9	190,583	114.3
	1日平均	1,551		1,562	

注：満車日は、概ね1時間以上満車となった日を集計しており、単位は「日」。

注：正広駐車場の収容台数は、平成16年12月20日まで1172台、平成18年9月21日までは1312台。

航空旅客数 (速報値)	241,639	101.2	962,339	106.7
-------------	---------	-------	---------	-------

○ 広島空港ホームページセッション数（H29.7.1～H29.7.31）

国別セッション

国	セッション	セッション率
日本	271,975	95.66%
香港	3,218	1.13%
台湾	1,560	0.55%
韓国	1,427	0.50%
中国	1,277	0.45%
アメリカ	1,226	0.43%
シンガポール	405	0.14%
オーストラリア	245	0.09%
イギリス	240	0.08%
不明	688	0.24%
その他	2,041	0.72%
計	284,302	100.00%

市区町村別セッション

市区町村	セッション	セッション率
大阪	62,113	21.85%
広島	46,524	16.36%
新宿区	21,692	7.63%
港区	19,618	6.90%
横浜	16,025	5.64%
福山	6,862	2.41%
名古屋	6,558	2.31%
千代田区	5,767	2.03%
中央区	5,608	1.97%
渋谷区	4,929	1.73%
その他	88,606	31.17%
計	284,302	100.00%

デバイスカテゴリ別

デバイスカテゴリ	セッション	新規セッション率
モバイル	161,577	44.12%
デスクトップ	104,515	51.50%
タブレット	18,210	50.49%

（出典）google アナリティクスからデータ作成

トピック

・空港経営改革推進委員会第1回会議について

7月24日に空港経営改革推進委員会の第1回会議を開催しました。第1回会議では、同委員会の活動方針や、空港振興施策の進捗状況等について意見交換を行うとともに、平成29年度の重点検討テーマを「広島空港の将来目標」と「空港アクセス対策」とすることを確認しました。関係資料は広島県のHPに掲載しています。

(参考) 広島県HP

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/101/hij-keieikaikaku-001.html>

・広島～シンガポール線の路線認可について

10月30日からシルクエアーが運航予定の広島～シンガポール線（第2号にて既報）について、国土交通省により8月4日付で国際航空運送事業の経営許可が行われました。

(参考) 国土交通省HP

http://www.mlit.go.jp/report/press/kouku05_hh_000089.html

・羽田線の増便について

ANAが運航する広島～羽田線が、冬季ダイヤ（平成29年10月29日～平成30年3月24日）の期間中、1便増便されることになりました。（8月22日に同社が国土交通省に申請）

広島空港では冬季ダイヤから空港運用時間の1時間延長が予定されており、延長した時間帯に新たなダイヤが設定されるものです。今回の増便により、羽田線の最終ダイヤが広島発着とともに約1時間遅くなるため、広島・東京の双方での滞在時間が拡大するとともに、国際線との乗継利便性も向上するなど、利用者の利便性向上が期待されます。なお、これによりJALも含めて広島～羽田線は18便（往復）/日となります。

《ANAによる増便の概要》

○ 便数（ANA）

9便（往復）/日 → 10便（往復）/日

○ 最終便（増便）ダイヤ

区 分	～H29.10.28	H29.10.29～
広島発⇒東京（羽田）着	20:35→22:00	21:35→23:00
東京（羽田）発⇒広島着	19:30→20:55	20:20→21:50

(参考) 広島県HP

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/101/tokyosen-zoubin.html>

・ 広島～札幌便について

広島～札幌線（新千歳）について、冬季ダイヤから ANA が再就航することになりました。なお、現在運航しているエアドゥの路線は廃止されます。（冬季ダイヤからは同路線は ANA と JAL による運航となります。）

ANA による運行ダイヤ（平成 29 年 10 月 29 日～）

広島発→札幌（新千歳）着	札幌（新千歳）発→広島着
8：00→9：50	18：40→20：55

・ お盆期間中の空港アクセスについて

お盆期間中に、山陽自動車道で発生した事故等による渋滞のため、計 110 便の運休が発生し、運休対応として白市空港連絡バス（白市駅～空港間）で計 55 便の臨時便が運行されました。

《運休発生状況》

月 日	空港行	広島行	小計	原因	時間帯
8月11日(金)	10便	9便	19便	事故渋滞	(空港行)12:00以降(14:40運行再開) (広島行)12:20以降(14:45運行再開)
8月12日(土)	22便	21便	43便	事故及び 交通集中渋滞	(空港行)13:20以降(17:15運行再開) (広島行)14:05以降(18:35運行再開)
8月13日(日)	24便	24便	48便	事故及び 交通集中渋滞	(空港行)10:20以降(15:15運行再開) (広島行)11:10以降(16:10運行再開)
合計	56便	54便	110便		

※その他の路線（福山線、呉線、三原線、竹原線、尾道線、三次線）の運休はなかった。

《白市空港連絡バスの臨時便運行状況》。

月 日	空港行	白市駅行	小計
8月11日(金)	5便 81人	3便 118人	8便 199人
8月12日(土)	11便 222人	10便 365人	21便 587人
8月13日(日)	12便 285人	7便 290人	19便 575人
8月14日(月)	4便 48人	—	4便 48人
8月15日(火)	3便 28人	—	3便 28人
合計	35便 664人	20便 773人	55便 1,437人

【参考】

平成 21 年度以降のお盆期間の運休状況

年度	広島→空港	空港→広島	小計	期間	備考
21年度	79便	95便	174便	8月7日～8月15日	高速道路休日特別割引
22年度	58便	84便	142便	8月7日～8月15日	高速道路休日特別割引
23年度	50便	56便	106便	8月11日～8月16日	高速道路休日特別割引
24年度	61便	105便	166便	8月10日～8月15日	
25年度	5便	なし	5便	8月10日～8月18日	
26年度	なし	なし	なし	8月7日～8月17日	
27年度	なし	なし	なし	8月6日～8月16日	
28年度	32便	34便	66便	8月6日～8月16日	

※高速道路休日特別割引(千円高速)期間:平成 21 年 3 月 28 日～平成 23 年 6 月 19 日

■ お知らせ

第5号の配信は9月下旬頃を予定しています。